

国語総合

次の文章は、出口治明『自分の頭で考える日本の論点』からの一節です。これを読んで、後の問いに答えなさい。なお、原則として句読点やカッコは一字に数えます。

複雑系という学問分野に、「カオス理論」というものがあります。この理論によって、未来は原理的に予測不能であることが明らかになりました。計測できないほど小さな初期値の違いによって、結果がまったく異なってしまうからです。その理論の本質を言い表したのが、次の言葉でした。

「ブラジルで1匹の蝶が羽ばたけばテキサスで竜巻が起こる」

いわゆる「バタフライ効果」です。ブラジルが「北京」、テキサスの竜巻が「ニューヨークのハリケーン」になるバージョンもありますが、いずれにしろ、どこかで羽ばたくかもしれない蝶の動きをすべてハ^アクして、気象の変化を計算することなど誰にもできません。未来が予測できないと聞くと **A** 的になりますが、逆に次のように考えたらどうでしょうか。

「取るに足らない1匹の蝶でも、羽ばたけば、世界の気象に影響を与えることができる」

私たちの暮らす世界は広くて複雑なので、人は【ア】無力感を抱きます。さまざまな問題を解決したいけれど、自分1人が頑張っても世界を変えることなどできっこない——そう思って、問題を考えること自体を諦めてしまうのです。「自分の1票など何の影響力もない」と思い込んで選挙で投票に行かないのは、その **B** 的な表れです。しかし現実は違います。自分の半径1メートル圏内での行動が、ブラジルや北京で羽ばたく1匹の蝶のように、世界を変えてしまう可能性は十分にあります。それをタイゲンした1人が、スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥーンベリさんです。8歳のときに気候変動への対策がほとんど行われていないことを知った彼女は、そのショックによって心に変調を来^{きた}しました。そして15歳のときに、「気候のための学校ストライ

キ」をたった1人で始めます。その運動の輪がどんどん広がり、

(中略)

C

的に1000万人を超える若者たちを動かしました。

学歴も収入も高い、いわゆるエリート層のなかにも、「他人は変えられないし、世界も変えられない。政治に口を出してもムダ。半径1メートル圏内で自分の利益だけ考えて行動するほうが賢い」といったことを述べる人がいます。そのような考えの持ち主が増えることは、僕は健全な社会の衰退だと思っています。

これまで日本の教育は、次の「5要素」を重視してきました。

- ・偏差値が高い
- ・素直である
- ・我慢強い
- ・協調性がある
- ・先生や上司のことをよく聞く

こうして並べてみると、一部の企業経営者は「すばらしい人材だ」といいます。でも、こういう人間ばかりを集めた組織が、新しいものを生み出すことができるでしょうか。組織としてのルーティンワークは効率よくこなせるでしょうが、創造的な仕事が生まれるとはとても思えません。この5要素は、僕にいわせれば、戦後の製造業の工場モデルに結果としてカジョウ^ウ適応したものに過ぎません。

そこで、従来の教育に満足していない人の多くは、「個性を伸ばす教育を行うべきだ」と主張します。それはよしとして、ここで「個性」と呼ばれているのは具体的にどんなものでしょうか。多くの人が思い浮かべるのはクリエイティビティ、【イ】新しいものを生み出す「創造性」でしょう。しかし、そんな能力が誰にでも備わっていれば苦労はしません。高いクリエイティビティの持ち主は一握りですし、そういう人は放^aつておいてもそれを発揮して生きていきます。ですから、教育で求められるのは、そのよう^Bなクリエイティビティを伸ばすことではありません。

個性とは、単に「みんながそれぞれ人と違うこと」を認めることにすぎません。人はそれぞれ顔や声が違う。趣味嗜好や性格もさまざまです。それ自体は良くも悪くもないニュートラルなものです。そういう「違い」を当たり前のものとして受け入れることが、「個性を大事にする」ことなのだと思います。

かつてIBMに浅川智恵子さんという全盲のフェローがおられました。彼女が目が見えない人のためのプログラムを開発したいと述べたとき、会社は当初、「マーケットが小さすぎる」と拒否したそうです。それでも彼女が目が見えない人のための音声インターフェースを開発したところ、それは視覚障がい者だけではなく、高齢者などにも使い勝手のよいものだとわかりました。小さいマーケットしかないと思われたものが、じつは多くのユーザーにとって使いやすい汎用性¹を持つていたのです。

彼女は自分の視覚障がいを「ハンデではなく個性だと思っています」と語っていました。これは本当に至言²だと思います。人はみんな違って当たり前だと考えれば、全盲という、一見不便でマイナスなものと思われがちな特質も「個性」となって、それを生かす道が開けてきます。そのような個性を尊重し、「人がみんな違うことを否定しない」という発想があれば、社会には多様性が生まれそこから新しいものが生まれてきます。閉塞^cしているといわれる日本社会のブレイクスルー^cはそこにしかない、僕は考えています。

(中略)

「坊主憎けりや袈裟^{けさ}まで憎い」という言葉があります。これは、私たちが抱きがちなる種の「思い込み」のたとえです。袈裟に対する好き嫌いは、それを着ている坊主に対する好き嫌いとは無関係なはずなのに、なかなかそうは思えない。同じ袈裟であっても、自分の好きな人が持っているか、自分の嫌いな人が持っているかによって、評価が違ってしまふ。このような思い込みを「属人的判断」と呼びます。

私たちは日常のさまざまな場面で、このような思い込みに左右されています。たとえばノーベル物理学賞や化学賞を受賞した研究者が、まったく専門外の社会問題について意見を述べたとき、私たちはそれを一般人の意見と同じように聞けるでしょうか。「立派な学者が述べたのだから立派な意見なのだろう」と属人的に評価してしまう人が多いと思います。逆に、日頃から嫌いな人の

意見は、端から「間違っている」と決めつけてしまうこともよくあるでしょう。しかし、立派な業績のある人が間違った意見を口にするとはいくらでもあります。嫌いな人が正しい考えを主張することもあります。

【ウ】、「この人は好き」「この人は嫌い」といった感情を持つこと自体が悪いわけではありません。しかし物事を考えるときの判断材料として人の意見を聞くときは、自分の好き嫌いは脇において、意見は意見として独立して判断すべきです。また、「この人の言うことならすべて正しい」「こいつの意見はすべて間違っている」と頭から全肯定あるいは全否定することで、適切な判断ができなくなってしまうことも多々あります。「言っていることの9割はデタラメだけれど、1割は正しいことを言う」人や、その逆の人は、世の中にたくさんいます。

意見と人格を切り離して受け入れるのは【エ】難しいことです。しかし、音楽や絵画や小説などの作品を鑑賞するとき、私たちは作者の人格などあまり気にしないでしよう。評伝などを通じて、偉大な芸術家が人間としては破綻^dしていたことを知ったりもしますが、それによって作品への評価が変わるわけではありません。「人間としてはダメだけれど、この作品はすごい」というケースはいくらでもあります。僕自身、オールオアナッシングで考えがちなタイプなので、これはジカイ^eを含めての話ですが、人間は【D】的であるという認識のもと、「意見と人格」「作品と人格」は切り離して、是々非々で評価しなければならぬと思っています。

物事を考えるときには、既存の「常識」に囚われてはなりません。とくに新しい問題を解決するためには、常識を疑うことが何よりも重要です。ただし、常識を「疑う」とことと常識を「否定する」ことは同じではありません。疑った結果、間違っているとわかれば否定する。否定できるだけの明確な証拠がなければ、長く続いてきた伝統や習慣はそのまま大事にしておけばいい。

(中略)

でも常識を疑うことは難しい。なぜなら常識のほとんどは、一見したところ、真つ当に思えるからです。たとえば、「男と女は違うけれど平等」「男女の違いを認めたくえて平等に扱おう」という異質平等論があります。男女には【E】的に有意な身体能力の差があるのはたしかなので、一見真つ当なリクツ^oに思えます。しかし、本当にそうかと突き詰めれば、この考えは人々の多様

性を男と女という従来の常識の2つの箱に押し込めようとする、かなり抑圧的な発想です。異質平等論だとLGBTQは理解できなくなるので、これは間違っていることがわかります。

「個人差は性差や年齢差を超える」というのがダイバーシティの大前提です。常識を疑うことを信条としている僕でも、つい「男性あるいは女性の良いところは」とか「高齢者の生きる意味は」などと不用意に一括りにして考えてしまいがちです。常識を疑うことは本当に難しい。自分が常識に囚われていることに気づかないから、なおさら難しい。お互い、そのことを十分肝に銘じておきたいものです。

*問題作成上、文章の一部を変更しています。

問題

問1 — 線ア〜オのカタカナを漢字になおしなさい。

問2 — 線a〜eの漢字の読みをひらがなで書きなさい。

問3 【ア】〜【エ】に入れるのにふさわしい語をそれぞれ次から選び、番号で答えなさい。同じ番号は一度しか使えません。

- 1 なかなか
- 2 ほとんど
- 3 しばしば
- 4 まさに
- 5 もちろん

問4 A ㄣ E ㄣ に入れるのにふさわしい語をそれぞれ次から選び、番号で答えなさい。同じ番号は一度しか使えません。

- 1 典型
- 2 専門
- 3 統計
- 4 結果
- 5 悲観
- 6 多面

問5 ㄣ線1「汎用」、2「至言」は、それぞれどのような意味ですか。次の中から正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。

- 1 汎用
 - a 広く様々な用途に使えること
 - b 普通の人々にも使えること
 - c 凡例として多くの人に使えること
- 2 至言
 - a 至極ありがたい言葉
 - b 極めて胸に至る言葉
 - c 極めてもつともな言葉

問6 〰️線あ「オールオアナッシング」と同様の内容を述べている部分を、本文から探して十五字以内で抜き出しなさい。

問7 〰️線い「ダイバーシティ」の日本語訳を、本文から探して漢字三字で答えなさい。

問8 〰️線ア「健全な社会」とは、どのような社会ですか。説明しなさい。

問9 〰️線B「そのようなクリエイティブイ」とは、どのようなものか、本文から探して抜き出しなさい。

問10 〰️線C「そこ」は何を指していますか。本文から探して抜き出しなさい。

問11 〰️線D「異質平等論だとLGBTQは理解できにくくなる」とありますが、それはなぜですか。説明しなさい。

問12 筆者は物事を考える際に、どのようなことに気をつけるべきだと考えていますか。百字以上百五十字以内でまとめなさい。